

師走、一年納めの月となりました。日暮れも早く、冬本番の気配が感じられる季節となつてきます。年の暮れになると、各家々では「煤払い」をして、お正月を迎える準備を始めます（元々は十三日に行つたものです）。神棚・仏壇を清め、神棚に新しい稲藁で作つた「しめ縄」を張り、新米でお餅をついて「お供え」を作り、青々とした松竹で作つた「門松」を立てて「歳神様」を迎えるための準備をします。「歳神様」の「とし」とは、「稲」を意味し、豊かさや恵み・生命の象徴です。ですから古来・日本では、お正月になると「歳神様から新しい命をいただき、一歳年をとる」という「数え年」という年齢の数え方をしてきました。今日でも、私たち日本人は様々な人生儀礼に関する年齢は「数え年」で行つています。これは、成長過程の節目ごとに充実した人生が送れるよう、神様に感謝と祈りを捧げ、常に神様との御縁を持ち続けてきている証です。清々しい家、清々しい心で歳神様（新年）を迎え、初詣をしたいものです。

## 今月の行事

### 四日 正月例祭祭典委員会

氏子総代会 一三時三〇分～  
当番区長会 一四時三〇分～  
お正月様頒布始め 中旬

七日 大雪

八日 いいおか幼稚園 雪組親子教室

九日 埴・皇産霊神社 例祭（初卯）

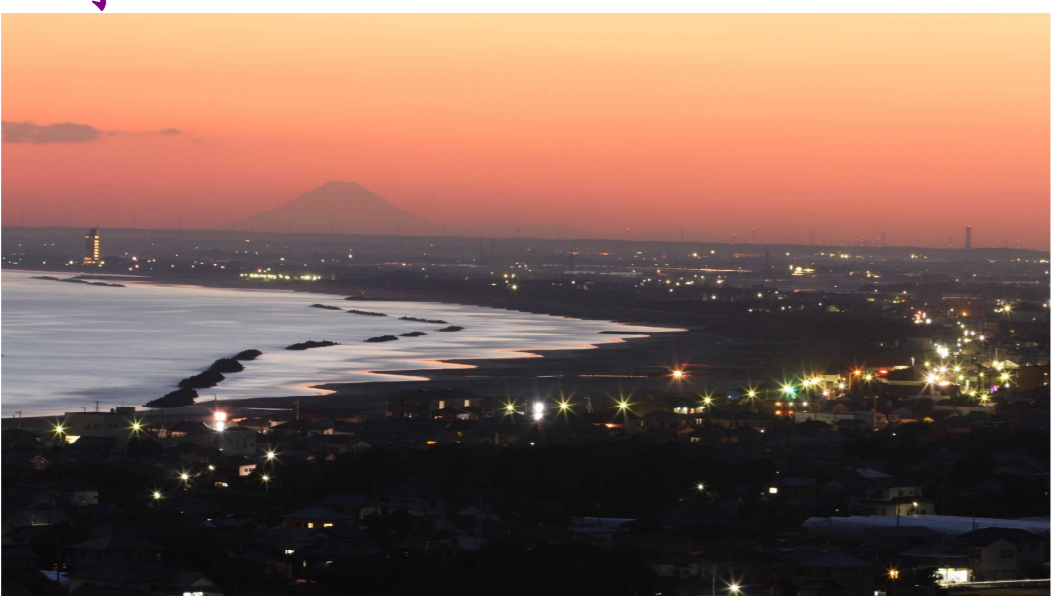
二二日 冬至

二四日 いいおか幼稚園 終業式

三一日 年越の大被（二八時）

一月一日 元日 正月祈念（御祈祷）

〇時～一時 七時～一六時  
二日以降は 八時～一六時



新年の初詣は、新型コロナウイルス感染予防のため、マスク着用の上、「密」にならぬよう、気をつけてお参り下さい。